

競技注意事項

1. 規則について

本競技会の公認種目においては 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに、本大会要項および申し合わせ事項により実施する。

2. 競技場使用上の注意

- 1) 芝生内での練習は、投擲種目実施時間を除いて可能とする。
- 2) 開門時間は 8 時 00 分、閉門時間は競技終了の 1 時間後とする。

3. 競技者の招集について

- 1) 一次招集はスタンド中央のテントにて行う。
- 2) 各日 1 種目目のみ競技開始 30 分前に一次招集を行い、各日 2 種目目以降の招集は前種目終了時に宣告する時間に現地にて最終コールを行う。(ただし、2 日目の七種走幅跳前に行う一次招集は競技開始 45 分前に現地にて行う。)
- 3) 招集開始時刻に競技者係から競技者本人が点呼を受ける。また、トラック種目出場者のみ腰ナンバー標識（1 枚）を受け取ること。

4. アスリートビブスについて

- 1) アスリートビブスは主催者が 2 枚配布する。(男子は黒字、女子は赤字) そのままの大きさで胸と背に確実に付けること(TR5.7)。ただし跳躍競技者は胸のみの着用を認める。トラック種目出場者は、競技者係が配布する腰ナンバー標識を右腰に付けること。

5. 用器具について

- 1) 競技に使用する用器具（投てき物を含む）は、すべて主催者が用意したものを使わなければならない。

6. 競技について

1) トラック競技について

1. 計時はすべて電気計時（0.01 秒）を用いて行う。

2) 跳躍競技について

1. バーの上げ方に関しては、国際規程を適用せず、競技者と協議して定めることとする。
2. 走高跳のバーの上げ方は、競技者と協議して決めることができる。
3. 棒高跳のバーの上げ方は、競技者と協議して決めることができる。

3) 試技回数について

1. 走幅跳、砲丸投、円盤投、やり投に関しては、試技回数は 3 回とする。

4) 助力について

1. フィールド種目に出場している競技者に対して、録画映像を提供する者のすぐ近く（コーチングエリア近辺）であれば、録画した機材（ビデオ装置・携帯電

話等)を競技者自身が手に取り、操作して確認することを認める。

2. コーチングエリアをバックスタンド走幅跳ピット前、やり投助走路後ろ、走高跳ピット横に設ける。

3. 写真判定装置が正常に作動しなかった場合、レース終了後1時間以上を空けて再レースを実施し、以降の種目も順次開始を遅らせる判断をする場合がある。

7. 各種書類について

記録証明書、エントリー料の領収書の発行は、スタンド中央の本部テントにて行う。

記録証明書は無料で発行いたします。

8. 競技結果について

速報サイトにて掲載する。

<https://keiotf-result.capoo.jp/20kaikeidai/kyougi.html>

9. 競技会に関する問い合わせ

慶應義塾体育会競走部 主務 飴野湊大

TEL: 080-3019-2448

Mail: keiotf.entry@gmail.com